

ZQ MERINO

エクササイズも効果アップ

汗対策



運動すると、体温が上昇します。体がほてりだし、不快になります。この変化に対応するため、汗が出て、体を冷やそうとします。

これは体の自然な反応で、気化冷却と呼ばれています。快適な状態を保とうとする、体が持っている自然なメカニズムなのです。メリノがサポートするのは、体の快適な状態を高いレベルで持続させること。メリノ繊維には、熱と湿気をコントロールする力がもともと備わっており、それにより極端に暑なったり寒くなったりという幅を最小限に減し、快適で最適な状態を持続できるのです。



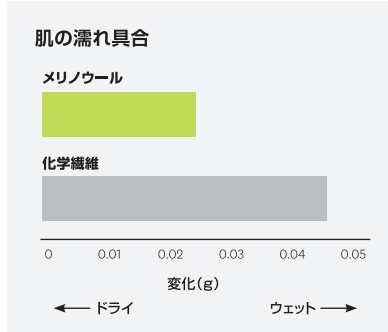
その結果は？

50% / 50%
ZQメリノ / 化学繊維



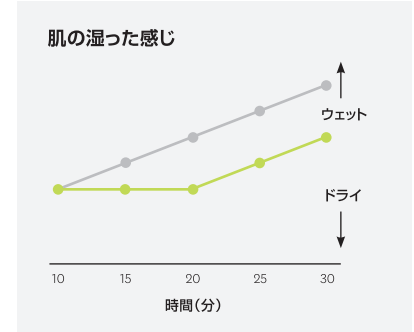
さらに、メルボルンにあるビクトリア大学のスポーツ・エクササイズ・アクティブリビング研究所 (ISEAL) で実験。半分メリノ・半分化繊のウェアを着たアスリートに夏のエクササイズの条件で走ってもらいました (25°C、50%RH)。

テストの計測値は……



メリノファイバー側の肌の方がドライであった。

着用者が感じたのは……



肌は、メリノファイバー側の方がドライに感じられた。

研究



100%
ZQメリノ



50% / 50%
ZQメリノ / 化学繊維混紡



100%
化学繊維

アウトドアで着用されるメリノの生地特性をより深く理解するための研究が、ニュージーランドのオタゴ大学で行われました。メリノ100%、メリノ50%/化繊混紡50%、化繊100%のウェアを比較しました。テストでは、「暑いとき」、「寒いとき」の2つの条件でアスリートに運動してもらいました。

結果は以下の通りです。

- メリノは両条件ともずば抜けて良い結果を出した。
- メリノは最も快適な繊維だと見なされた。
- メリノは発汗のスピードを遅らせた。



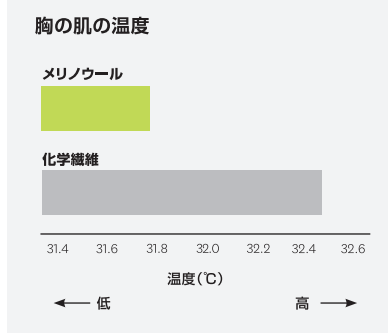
夏

32°C +/- 2°C @
20 +/- 2% RH

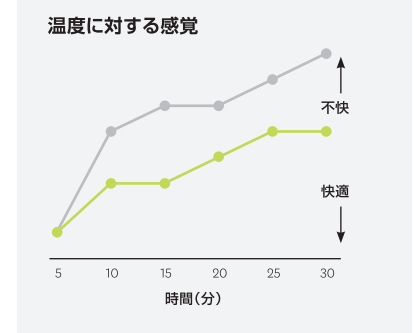


冬

8°C +/- 2°C @
40 +/- 2% RH



肌の温度はメリノファイバー側の方が低かった。



温度は、メリノファイバー側の方が心地よく感じられた。



メリノファイバーは、もともと機能面で優れていて、温度や湿度をコントロールすることができます。つまり、メリノ素材のウェアを着ていれば、夏・冬どちらの条件でも、より長く、より効果的かつ効率的、より快適にエクササイズができます。